

◎**ブラジルの樹木** —ブラジル郷土樹種の同定と植栽マニュアル— (LORENZI, Harri : *Árvores Brasileiras —Manual de Identificação e Cultivo de Plantas Arvóreas Nativas do Brasil—*, Editora plantarum, São Paulo, Brasil, 1992, xiii+352+xvipp., 邦価約 7,000 円)

ブラジルの樹木に関するフロラあるいはマニュアル類はいくつか出版されているが、林業上必要な情報を盛り込んだものは少ない。筆者の知る範囲では、“*Ávores e Madeiras Úteis do Brasil —Manual de Dendrologia Brasileira—*” (仮訳「ブラジルの樹木と木材—ブラジル樹木学のマニュアル」, 1971年に初版, 1990年第2版)が現在も出版されている唯一の林業的なテキストであった。本書にはブラジルの代表的な郷土樹木 352種が紹介されている。種毎にA4判1頁を使用し, その1/4頁に全体の樹形, 同様の大きさで花と葉を着けた枝の写真を, 果実, 種子, 樹肌, 材の写真を約1/16頁大に掲げており, すべてカラー写真であるためさまざまな部分を利用して樹種の同定を行うことが可能である。種に関する記載は1/4頁に圧縮されているが, 1. 形態的特徴(樹高, 直径, 葉の形態, 葉の大きさ), 2. 分布, 3. 材の特性(密度, 水湿あるいはシロアリに対する耐性など), 4. 利用, 5. 生態的な情報(常緑/落葉か, 陰樹/陽樹, 先駆種/極相林種, 乾性種/湿性種, 土壌などの立地条件, その他), 6. 季節相(花期, 果期), 7. 種子の取扱, 8. 苗木生産など林業的に必要な情報のすべてを要領よくまとめてある。巻末にはブラジル名, 学名, 種子採集月に並べた索引がつけられ非常に使いやすい。

ブラジルの主要造林樹種はユーカリ類とマツ類で, 林業上の重要な情報は多くの論文, マニュアルにまとめられているが, とともに導入樹種である。ブラジルの樹木相を少しでもかじると有用な郷土樹種が多数あることが理解されるが, 残念ながらそれらを造林しようとするとき育苗, 育林に関する基本的な情報が収集困難で諦めざるを得なかった。本書の刊行によって, 多彩なブラジル産樹木の一部ではあるが, 植栽の試みがしやすくなったことは大きな功績であろう。ポルトガル語で書かれてはいるが, 副題に「郷土樹種の同定」が含まれているようにカラー写真は分かりやすく, 眺めているだけでもブラジル産樹木に親しめ, 楽しくなる。続編とともに英語版の発行を期待したい。(齊藤昌宏)